

芝桜のジュータン

花を愛せる人になりたい。花の美しさを感じられる人に。そして花を育てる心優しい人でありたい。このような気持ちになったのはカメラをいじり始めてからである。花の芽が出た！遅しく遅しく成長している。そして誰が見ていようがいまいが、美しく精一杯花を咲かせている。花の種類は数限りなくあるが、それぞれに美しい花を咲かす。そして時は過ぎ元気なく萎れていく姿は哀れだ。それはまるで人の一生を見るような気がしてくる。



兵庫県姫路市夢前町の山間にヤマサ蒲鉾本社工場がある。この日は春爛漫の季節で、山の斜面には美しい芝桜が咲き誇っていた。それはまるでジュータンを敷き詰めたように、山裾からあたり一面を覆い尽くし、18万株を超すピンク・白・赤・紫の花は光輝いていた。一つ一つの花の美しさもさることながら、このように密集することの美しさは、スポーツに例えると個人戦の輝きでなく、団体戦の素晴らしさが感じられるのだ

芝桜はハナシノブ科の多年草。春には桜に似た花が咲き、それ以外の時期は葉が芝生のように見えることから芝桜と名づけられた。寒暑や乾燥に強くカーペット状に地面を覆うので、土の流失を防ぐ役割もある。原産はアメリカ東部で、別名ハナツメクサ（花詰草、花爪草）。

四季のある日本は美しい。自然の変化をもっと楽しめる人になりたい。 撮影 2009年春

